

— 学校教育目標（スクール・ミッション） —
「知徳体」の調和のとれた地域に有用な人材の育成

令和5年度 第2号です。2学期を振り返ってみました。

テーマ「『進取果敢』～ときは青く光り輝く～」を掲げ、10月27日・28日（金・土）にときわ祭（文化発表会）が行われました。生徒実行委員会が、副題に「ときわ」と「時は青く（青春）」を掛けて、八女高校らしい色が出るような行事にしたいと想いを込めました。

ステージ部門ではすばらしいパフォーマンスを鑑賞し、展示部門でも各文化部や委員会と有志の展示があり、バリエーション豊かな内容でした。多岐にわたる展示に鑑賞時間が足りないとの声が聞こえてきました。また、今年初の試みで、希望者による後夜祭が行われ、ダンスや演奏、歌などで盛り上がり『ときわ祭』の新たな1ページとなりました。

ときわ祭



書道部パフォーマンス



茶華道部（茶道）



ESS部



茶華道部（華道）



映演部「モノクローム」



吹奏楽部



保健委員会



自然科学部



放送・弁論部



写真部



美術部



文芸部

八女高だより

令和5年度
第2号
(12月12日発行)
福岡県立八女高等学校
校長 江崎 章
編集 企画広報課



【本号の内容】
ときわ祭（文化発表会）
体験入学
総合的な探究の時間
表彰
OB紹介

「多方面から」

私は今回、ありがたいことに、二つの視点から「ときわ祭」に携わらせていただきました。一つは実行委員として運営を、もう一つは書道部としてパフォーマンスを行いました。今回「ときわ祭」へと名称が変わり、二日規模で行われるため、実行委員長としても書道部としても期待がある一方で、ものすごくプレッシャーであったことを思い出します。2年生だからこそ去年のように誰かに頼ることなく、一から書道パフォーマンスを作ることは前提でしたが、4人で構成をどうするか、どういう意味を込めるのか、時間が無い中で行うのは、想像以上に難しかったです。実行委員長としても「ときわ祭」だから何が異なるのかと思われることもあり、私に何ができるのか不安もありました。ただどちらにおいても、人の支えの偉大さを感じました。みんなからのサポートがなければ一つの書道パフォーマンスを仕上げることに、ときわ祭を成功させることは出来なかったと思います。

今回、出会った人、携わってくださった方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。一人でも多くの人に楽しかったと言ってもらえれば私にとっての糧になります。

実行委員長 樺島 あいら（南中出身）



後夜祭 有志MC



後夜祭 有志パフォーマンス

第2回中学生体験入学

第1回は9月9日(土)に、第2回は10月28日(土)に、中学生体験入学を開催しました。第2回の体験入学では、入試内容、施設、そして文化部の活動等を紹介しました。初めに開会行事にて吹奏楽部、書道部、有志のダンスを披露しました。次に入試説明と在校生からの受検アドバイスをを行いました。最後に本校の文化発表会の展示作品の鑑賞と文化部の茶華道部や自然科学部、ESS部などの活動を実際に体験していただきました。



開会行事 (吹奏楽部による演奏)



入試説明や受検アドバイスの様子



体験活動(自然科学)の様子



体験活動(華道)の様子

総合的な探究の時間(2年) ちくごみらいプロジェクト

昨年度は「SDGs(持続可能な開発目標)」から、自分の興味・関心の高い「目標」を選択し、その解決に向けての方策を考察し、世界の課題を知る活動を行いました。今年度はその活動をさらに深化させた探究活動「ちくごみらいプロジェクト」を行いました。生徒は「行政・経済」「国際・文化・観光」「産業」「情報・工学」「医療・健康」「地域・開発」の6分野に分かれ、グループで設定したテーマを「ちくご」に落とし込み、探究活動に取り組んできました。クラスの枠を越え進路希望や興味のある分野での活動は多岐に渡っており、筑後市役所や地元の企業と提携したり、ワンヘルスについて活動を行ったり等、個性豊かなものになりました。



[写真]

左：ときわ祭展示(6分野)

右：宮田織物さんの「はんてんフェア」に展示
(宮田織物さんから廃材をいただいて作りました)

祝！部活動全国大会・九州大会出場

福澤諭吉記念
全国高等学校弁論大会
放送・弁論部
本村海愷さん

全九州高等学校選手権
新人水泳競技大会
水泳部
入江心那さん 本田ののかさん

全九州高等学校
新人陸上競技大会
陸上競技部
毛利伊音さん

OB紹介

野田 晋太郎 (のだ しんたろう)氏
(高61回生平成21年卒業)

羽犬塚中学校出身

<プロフィール>

2009年 八女高校 卒業

2013年 東京大学工学部 卒業

2018年 東京大学大学院情報理工学系
研究科博士課程 修了

2018年 東京大学情報理工学系研究科 特任助教

2021年 国立研究開発法人農研機構 研究員



担任だった江崎校長先生、松尾先生、部活動顧問の田中先生、同じクラスだった柴尾先生、と懐かしいお名前をたくさん聞き、気づけばOB紹介を引き受けておりました。はじめまして、野田晋太郎と申します。2009年に八女高校を卒業し東大に進学。大学院では二足歩行ロボットの研究で博士号を取得しました。その後は特任助教を経て、今は国立の研究機関で研究員として働いています。

東大に進学すると、入学後2年間は教養学部所属し、文理問わず多くの入門的な講義を受けることができます。私の記憶に残っている講義は、宇宙論、相対論、映画論などです。次の2年間はより専門的な内容を学びます。私はロボットや人工知能に興味があったので、機

械情報工学科でプログラミングや機械設計などを学び、そのまま大学院に進学しロボットの研究を始めました。

研究とは何かを説明するのは、人によって考えが異なるため難しいですが、私の大学での研究を例に説明すると、二本足のロボットを作り、歩かせるためにはどういう問題があり、どうすれば解けるのかを考え、消費エネルギー削減といった性能向上のための技術開発を行うといったものです。突き詰めると新しいことをするのが研究だと思います。現在の仕事は、大学で学んだロボット技術を用いて農業の効率化等を研究する内容です。

研究に興味のある方は、大学に進んだら大学院について調べるとよいと思います。大学に併設されていることもありますし、別の大学の大学院を受験することも可能です。大学院では2年で修士号、+3年で博士号を取るところが多いです。奨学金等の制度が様々あり、私は日本学術振興会の特別研究員としてお給料を頂きながら通うことができました。学位を取ることで大学や研究機関で働く道が拓けます。

最後に、高校生だった自分にアドバイスできるなら、自分のできることを増やすよう意識すると良いと思います。私は中学のときは東大に行くとは思わなかったですし、高校のときは博士号が何かよく知りませんでしたし、大学のときは農業ロボットの研究をするとは予測できませんでした。勉強や身につけた技術のすべてが役に立つとは限りませんが、一部は必ず役に立ち、その一部を予言することは困難です。皆様がこれから様々な経験を積み、各分野で活躍されることを期待しています。